

補償金は白紙委任に

水俣漁協 調停委に申し入れ

水俣漁協の松田組合長らは二十六日、水俣病紛争調停委の湖上市会館長らに水俣病関係被害補償金二億八千三百万円余要求については白紙委任としたので、新日鐵側もこれに歩調を合わせてもらうようたのんでほしいと要請した。

このため二十七日午前、中村市長、湖上市会館長、斉所、山岡、広田の各市議ら地元調停委は新日鐵水俣工場に北川工場長、石野同次長らを訪ね、漁協側は双方とも白紙委任するようわれわれに申し入れたので会

社側もこれに同調してほしい”と申し入れるとともに漁協側は廿六日、希望事項として“就労の公平と漁業振興会社が設立された場合、他地域への操業には入漁金も要るので、会社はその辺のところを考慮してほしい”

と聞いていたことも伝えた。

これに対し新日鐵側は“いま即答はできないが本社にそのむねをつたえ三十日までに協議返答したい”と答えた。